

夏のハロウィン「海魔パレード」が登場

YOMISEウキウキ通り

毎年恒例のYOMISEウキウキ通りが7月30日、一色町銀座通り商店街で行われました。今年で20回目を記念して始めた新企画「海魔パレード」には、25組約80人が参加。大提灯祭りの起源となった海魔にちなんだ仮装パレードで、妖怪やお化けなどに扮した参加者が通りを練り歩き、コンテストも行われました。この他、夜店やミニ電車の試乗、太鼓の演奏など多彩なイベントがあり、歩行者天国となった通りには、たくさんの方が訪れ、夏の夜を楽しんでいました。



第20回の記念大会

はずストーンカップチャレンジレース

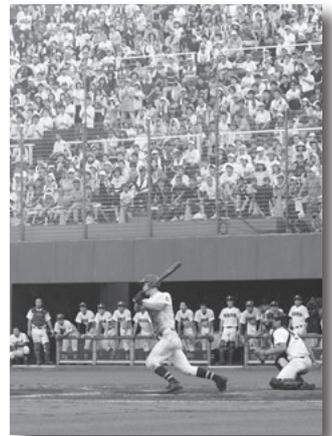
第20回ははずストーンカップチャレンジレース2016が8月7日、東幡豆海岸で開催されました。初出場10チームを含む64チームが参加。今年で20回大会を記念して「全日本イカダサミットin西尾」も同時開催され、サミット出席者がレースに特別出場しました。真夏の太陽が照り付ける中、幡豆石を加工した「ストーンカップ」を目指して熱戦が繰り広げられ、水しぶきを上げながら力いっぱい漕ぐ選手たちに、海岸から大きな声援が送られていました。



4年ぶり2度目

西尾東高校野球部がベスト4入り

第98回全国高校野球選手権愛知大会で、西尾東高校が4年ぶり2度目、公立校では唯一となるベスト4入りを果たしました。準決勝では愛工大名電高校と対戦。3対1で惜しくも敗れましたが、強豪校に一歩も譲らない戦いで、試合後には両チームに盛大な拍手が送られていました。



県下26の消防団が出場

県消防操法大会 ポンプ車操法



7月30日、県消防操法大会が県消防学校(尾張旭市)で開催され、西尾市幡豆消防団が出場。日頃の訓練活動の成果を発揮し、見事入賞を果たしました。

夏の夜空を彩る大輪の花

宮崎ぎおん祭り・吉良花火大会

7月23日に宮崎ぎおん祭りと第28回吉良花火大会が、宮崎漁港周辺で開催されました。宮崎ぎおん祭りでは、海の安全と繁栄を願い、若衆たちが大鯛みこしを勇壮に担ぎました。花火大会では、約1,700発の花火が打ち上がり、夏の夜空に色鮮やかな大輪を咲かせていました。





鮮やかに繰り広げられる400年の祭り

六 万石城郭城下町「西尾祇園祭」

歴史公園をメインステージとする名鉄西尾駅西側一帯の各会場で7月15日・16日・17日、西尾祇園祭が行われました。2年ぶりのお披露目となった手踊りや、西尾城の鑿石門うしじやくもんを通過する姿が復活した大名行列、20グループ参加の市民総踊りなど見どころも満載。天候にも恵まれ、3日間、通りからあふれるほど多くの人でにぎわいました。



生き物の不思議・ありがたさを体感

川の生き物調査とうなぎつかみの会



7月24日に福地北部保育園で、福地北部小おやじの会主催の川の生き物調査とうなぎつかみの会が行われました。生き物調査では、子どもたちが川に入り、メダカやドジョウを網で捕まえ、観察しました。うなぎつかみでは、プールに放された元気なうなぎを必死に追いかけてつかみ、バケツからあふれるほど捕まえた子もいました。他にもうなぎを炭火で蒲焼きにして味わうなど普段できない体験を通して、子どもたちは生き物の不思議さやありがたさを体感しました。

五穀豊穡・町内安全・天下和順を願う つみ 堤 通手永御田扇祭り

市指定無形民俗文化財の堤通手永御田扇祭りが7月17日に行われ、岡崎市の下合歓木町から西尾市の高落町へ、神輿みこしを中心とした渡御巡行が引き継がれました。岡崎市内16か所と西尾市内4か所の合わせて20の町からなる旧岡崎藩内の堤通手永という地域で、五穀豊穡・町内安全・天下和順を願って、1年ごとに町から町へと引き継がれていきます。今後は新村町、西浅井町、東浅井町と市内を巡り、岡崎市の安藤町へと戻っていきます。



気分はヒップホップダンサー！

S UGI-Jのヒップホップワークショップ



7月28日にハツ面ふれあいセンターで、SUGI-Jのヒップホップワークショップが開催されました。講師を務めたSUGI-Jさんは西尾市出身のヒップホップダンサー。難しそうに思えるヒップホップダンスを、丁寧に指導していました。夏休み期間ということもあり、多くの家族連れが参加。親子でふれあいながら、笑顔で体を動かしました。最初は悪戦苦闘していた参加者も、最後はダンスの振りをマスターし、音楽に合わせて、かっこよくダンスをしました。